

議会

No. 189



平成27年第4回(12月)定例会
行政事務一般質問 要旨

12月9日

村政に対して

5人の議員が質問しました

各議員の一般質問の項目

◆江田 宏子 議員

- ① 財政状況と役場周辺整備等、今後の事業計画について
- ② 公共施設の使用料の見直しを
- ③ ボランティア体制の強化に向けて

◆土屋 喜久夫 議員

- ① 第1次避難所整備
- ② 水道水源の水質は大丈夫か
- ③ 平成28年度村振興施策
- ④ 補助金施策は適正か

◆樋口 勝豊 議員

- ① 戦争法制(安保関連法)について
- ② TPPについて
- ③ マイナンバー制度について

◆勝山 卓 議員

- ① TPPの大筋合意を受けて、今後の農業対策は
- ② 高齢者を地域で支える見守りネットワークの取り組みについて
- ③ 村が管理する個人情報管理とセキュリティ対策について
- ④ 公会計における財務諸表の整備について

◆吉川 昭 議員

- ① 農地に関わる今の進行状況について
 - ② 農林高校存続について
- ※詳細は、ふう太ネットのビデオで、平成28年9月30日までご覧いただけます。



江田 宏子議員

① 財政状況と役場周辺整備等、今後の事業計画について

質問

実施計画書通りに全事業を行えば、5年間の財源不足額は19億円超、5年後の基金残高試算は約6億円(財政調整基金1億1千万円、公共施設基金2億1千万円ほか)となる。

① 役場周辺整備の見込み額

教育次長

① まずは社会教育団体

② 公共施設の使用料の見直しを

質問

① 会議室について、使用料の時間区分や村民使用料を見直してはどうか。また、農村交流館のラウンジ開放について伺う。

② 農村交流館の研修宿泊施設(3階)に「村外者」や「社会人」の使用料を設定すべきではないか。

③ ケヤキの森公園マレットゴルフ場は、介護予防、健康維持に効果的だが、管理費も多額である。年間パスや月額料金など、負担にならない範囲で、使用料をお願いしてはどうか。

③ ボランティア体制の強化に向けて

質問

多くの方に携わっていただいたり、長続きさせるには、有償ボランティアや地域通貨などの制度づくりなども必要だと思ふ。また、社協と連携し「各種養成講座の開催」や「資格取得費用補助」など、資金面でのバックアップで、意識の醸成とレベルアップ、人材の確保、弱者の支援体制の強化をしてはどうか。

村長

各種養成講座や活動支援は、社協との連携で研究したい。登録制による「有償ボランティア制度」を実施に向けて具体的に検討したい。「地域通貨」は、村民の理解が必要なので、今後の検討課題としたい。

議会に対するご意見をお聞かせください。

お電話の場合

☎82-3111(内線150番)

E-mailの場合

gikai@kijimadaira.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会



土屋喜久夫議員

① 第1次避難所整備

質問 財政的に厳しい中、命に関わる施策で評価できる。将来に渡る集落維持の集会所建設については、

村が主体となり、国県等の補助事業で、積極的に取り組まれるべきだと思うが。

村長 可能な限り、国県補助を積極的に利用し、補助残を村と地元が負担する方針である。耐震改修と併せ、改築等の村負担は、今後、補助要綱等を定めていきたい考えである。

② 水道水源の水質は大丈夫か

質問 柳久保水源の水道水に異臭があり、名水の里、米の里の村としては、水道水の変質は、観光地としても大変な命取りである。水道水源の湧水の上段に、今後開発等も考えられるが見解は。

村長 柳久保水源は、水質基準に適合していたが、水道水には不向きで糠千配水池に切り替えた。水源の規制は、村地下水保全条例により、水道水源から半径500m以内の区域での井戸等の開発行為を規制している。上部地域の状況の把握についても、引き続き注意を払っていきたい。

③ 平成28年度 村振興施策

質問 新年度予算は、第6次総合

振興計画の2年目で、当初から村長が関わる予算であり、村の振興策を示されたい。併せて、報道がある飯山赤十字病院の産科の分娩休止は、子育て支援の根幹に関わる問題であり、地域医療確保にどう対応するのか。

村長 実施計画、人口ビジョン、地方版の総合戦略の中では、人口減少、少子高齢化、移住定住促進、産業振興に具体的な事業を策定している。パブリックコメントで、意見を聞き、具体的に実施計画の中へ取り入れていきたい。役場庁舎建設や公共施設、観光施設の維持管理、社会福祉費の増加など、将来的な村の財政運営は厳しいと認識している。新たな産業の創出など、民間活力を引き出す、独自の方策も取り入れたい。独自色にこだわり過ぎ、民意とかけ離れないように努めたい。飯山赤十字病院の産婦人科の件について、必要な部分は市町村が出来る範囲での応援はしたい。

④ 補助金施策は適正か

質問 多方面に渡っている補助金事業について、改めて、要綱、規則を見直し、それぞれ適正に運営されているか。その効果の検証はどうか。

村長 村には50の補助金交付要綱があり、個人資産の形成や個人収益に反映するものもあり、極めて適正公平であるべきと思っている。担当部署において、適正に適用し、運用している。



樋口 勝豊議員

① 戦争法制(安保関連法)について

質問 戦争法制と言われている安

保関連法について、村でも8月30日に80人の村民が集まり、戦争法案反対の集会が成功した。村ではかつてなかったことである。この問題について、村長の見解、感想をお聞きたい。

村長 今回の安全保障関連法については、国民の十分な理解がないまま強行採決されたということで、残念に思う。集団的自衛権の行使のみならず、海外における平和維持活動においても、いわゆる駆けつけ警護などにより、もし、自衛隊が武器を使用すれば、相手から日本が敵と見なされる可能性は、十分にあるわけで、日本が戦争をしない国だということ、改めて世界に発信する必要があると考えている。

② TPPについて

質問 TPP(環太平洋パートナー

シップ協定)が大筋合意したなどと報道されているが、長野県のJAでは、長野県農業に対する影響は、392億円という巨額の影響が出るという発表をしている。村長の見解は。また、村経済への影響など、どの

ようにみているか。

村長 米、麦、牛肉、豚肉、乳製品、甘味資源作物の重要5品目については、除外、または、再協議するという国会決議があり、この重要5品目だけでも30割の関税撤廃ということになった。規模拡大による競争力の向上で、日本の農業を守るということだが、対応できる農家は、極少数だと考えている。特に、本村のように、条件不利農地を抱える農山村では、離農による地域経済の縮小、荒廃農地の増加が懸念される。国の対策以外に、村独自の対策も必要と考えている。

③ マイナンバー制度について

質問 1億3千万人の個人の秘密情報は、職歴、病歴、預金残高、その他いろいろ集積され、一旦、このマイナンバー制度が動き出せば、見直しが不可能であり、弊害が生じた場合、大きな社会問題になる。そうなる前に止めるべきである。

村長 マイナンバー制度については、個人情報漏えいや、なりすましによる不正利用がされるのではないかと懸念があることは承知している。セキュリティ対策には、絶対安全ということはないが、法の規定を遵守しながら、セキュリティ対策の再確認や職員教育を行い、対策強化を進めていきたいと考えている。



勝山 卓議員

① TPPの大筋合意を受けて、今後の農業対策は

質問 TPPによる農業への影響が大きく懸念されるが、農家の不安感を農業政策にどう反映させ、どう農業対策を進めるのか。また、全国の首長に賛否を問うアンケートが実施され、村長は、「どちらかと言うと反対」との回答であったが、その理由を伺う。

村長 TPPによる農業への影響は確実に、農業以外や住民の暮らしにも影響が出ると思われる。米のブランド化特産品の開発による販売強化、離農による遊休荒廃地対策、零細高齢農家への支援策、新規就農支援による農地の維持管理や有効活用を図る。国に対し、経営安定対策の財源確保を求めていく。賛否については、国の経済成長や景気が回復しないと、国民生活は向上しないし、村の産業は農業だけではないため、村の産業構造を鑑み、回答した。

② 高齢者を地域で支える見守りネットワークの取り組みについて

質問 全国的に認知症による高齢者の徘徊が問題となっているが、検索ネットワークの構築と広域化の取り組みが必要と考える。なお、本村の状況を伺う。

村長 「徘徊見守りSOSネットワーク」事業を本年度開始する予定で、現在、実施に向けて準備を進めている。民生課長 搜索件数は26年度が9件、

27年度6件、全員無事である。

再質問 SOSネットワーク・システムの経費は、どのくらいか。併せてGPS活用の取り組みは検討しているのか。

民生課長 登録された方の費用は掛からない。広く支援者を募集したいと思っている。GPS活用は、今後検討する。

③ 村が管理する個人情報の管理とセキュリティ対策について

質問 情報管理と対策は盤石か。また、コンプライアンス対策を含め、職員教育はどのようにされているか。

総務課長 業務システムは、専用回線を持ち、インターネット接続環境から完全に遮断されている。アクセス権限は、業務担当者のみで、守秘義務は地方公務員法で定められており、職員教育を常に徹底していく。

④ 公会計における財務諸表の整備について

質問 現会計システム(単式簿記・現金主義)では、村の正確な財務状況である「行政コスト、資産・負債の総体の一覧(ストック情報)、連結財務状況」の把握ができないため、財務分析に限界が生じる。複式簿記による発生主義に基づく財務諸表を整備し、財政報告を充実させることで、説明責任の履行と有益な財政診断が可能になると考えるがいかがか。

村長 現在、新地方公会計制度に基づき財務書類4表を作成し、本年度から固定資産台帳を整備し、28年度決算情報から、財務報告を充実させる。



吉川 昭議員

① 農地に関わる今の進行状況について

質問 農地付き空き家、新規農業体験者などへの対応、農地法の下限面積、また、調布市から市民農園の依頼も入り、検討中と思われる。これらは交流、転入につながる重要な事である。喜んでもらえるスムーズな対応が必要である。現在の状況と対応を伺う。

村長 遊休農地や空き家は課題の一つであり、これらは農業のみならず、あらゆる産業の振興や移住、定住の促進、そのための資源として活用していきたいと考えている。

産業課長 ▼農地付き空き家については、空き家と農地を一緒に購入していただける方を希望する傾向があるが、農地法の下限面積40坪を超えていないと農業委員会の承認が得られない。対応として、空き家バンクに登録している空き家に特定し、特定農地貸付法を適用できるように農業委員会でも検討中である。

▼高齢化や離農により、遊休荒廃地が増えている中、農家のみが農地を守るだけでなく、新規就農者やサラリーマンを退職した方々など、非農家が少しの面積でも耕作できる方

策として、農地法下限面積を農業委員会でも検討中である。

▼調布市民農園は、年度始めに調布市から要望があり検討してきた。候補地としては、トイレ、休憩所、交通の便から観光交流センター周辺とし、条件は、「年3回以上お越しいただき、管理できる方」としている。28年1月より周知、公募をし、2月に説明会、3月に募集を締め切り、契約することとしている。

② 農林高校存続について

質問 平成30年に県内高校の再編が検討されると聞いている。農林高校は、村にとって非常に重要である。村長の考えと、村としての対応を伺う。

村長 平成30年からの第2期再編計画の具体的な内容は明らかになっていない。農林高校は、直接、職業に繋がるコースがあり、地元への就職率が高い状況である。高校の存続は地元経済、若者の定住に大きな役割を果たしている。高校の特徴として、地元との関わりを求めながら、様々な活動を行っている。村のそば打ち研究会の指導で、そば打ち甲子園参加など、村の人材、資源を活用した取り組みをさらに深めていきたい。地域産業、振興に役立つ専門高校として、将来とも存続できるように、県教育委員会にも訴えていきたい。



要望事項を提出する 森 正仁 議長（野沢温泉村役場）

平成28年長野県特別豪雪地帯
指定市町村議会協議会総会

1月27日

野沢温泉村で開催

県北部の豪雪地帯指定を受けている市町村議会が参集し、それぞれの要望事項を協議しました。

なお、本村議会は、次の要望事項を議題として提出しました。

本村議会からの要望事項

◆豪雪地帯における生活基盤の整備と交通安全対策について

主要地方道飯山野沢温泉線

▽戸那子バイパスの早期完成と歩道未設置区間（中村～戸那子間）における歩道設置事業の早期着手

▽中村地籍における無散水消雪パネル及び井戸の更新工事等の早期完成と放流水の有効活用策の事業化

国道403号

▽蛭川橋交差点～木島交差点までの歩道設置事業の早期着手

県道馬曲木島停車場線

▽西小路地籍における歩道設置事業の推進と早期完成

県道七曲西原線

▽中島地籍における歩道設置事業の推進と早期完成

2月3日、これらの要望を県知事、

県議会議長へ要請しました。

要請活動を行う協議会各議長（長野県庁並びに県議会棟）



県知事へ要望



県議会議長へ陳情

全員協議会

1月29日に全員協議会が開催され、村と議会、及び議員間で協議等を行いました。

【村長提出案件】

〈報告事項〉

- ・庁舎等整備方針(案)について
- ・寡雪対策について
- ・馬曲温泉定休日・営業時間の変更及び入湯税の見直しについて
- ・山岳資源を生かした観光戦略について
- ・保育料の改定について

【議員のみ】

〈協議事項〉

- ・議会災害対策支援本部について
- ・議会委員会条例の改正について
- ・28年度議会定例会年間日程について

〈報告事項〉

- ・北信広域連合選挙管理委員会委員の候補者の選任について

白川清隆さん（西小路）

を選任しました。

- ・北信州みゆき農業協同組合東部支所運営委員の推薦について

総務産業常任委員会委員

5人を推薦しました。

長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会
《構成市町村議会》
飯山市・信濃町・山ノ内町・白馬村・長野市・栄村・小谷村・高山村・木島平村・野沢温泉村
以上10議会